

令和 6 年度の事業報告書  
令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人人権サポートネット  
・レジリエンス・アルファ

1 事業の成果

一人一人が大切な存在として扱われる社会の実現を目指し、支援セミナーを開催した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千 円)
① いじめ・ ハラスメントなど の被害者 支援事業	・被害者の相談・支援事業面 接、電話、メール相談支援 計画の作成 公的機関等との連携 ・被害当事者ミーティング 「被害体験者の集い」開催	実施しなかった。		
② 孤独・孤 立・単独 者等居場 所作り事 業	・多様な生き方を支える「居 場所」づくり	実施しなかった		
③ 対等な関 係性で対 話できる 人や組織 の育成	・地域の人々を対象とした人 権学習会 ・人権セミナーの開催	《1. ピアパート ナー交流会と学 習会シリーズ》 (全 6 回)  第 1 回学習会 (4 月 10 日) 参加者 10 名 テーマ:「いじ め・ハラスメント は構造で起き る」 講師:工藤美奈 子 構造的暴力とし てのいじめ・ハラ スメントの視点を 学び、対話を通	(D) 不特定多数	費用無料

		<p>じた気づきの共有。</p> <p>第2回学習会  (8月7日 19:00～20:30) 参加者 10名  講師: 篠崎良勝  (聖隷クリストファー大学 准教授)</p> <p>災害時の福祉実践とケアハラスメントの構造化分析『P.E.I.P.』紹介。</p> <p>第3回おしゃべり会(10月9日) 参加者 10名  テーマ: 「ケアハラスメントの実際を考える」  自由参加形式での語り合いと気づきの場の提供。</p> <p>第4回学習会  (2月12日) 参加者 10名  テーマ: 「ハラスメントが起きにくいコミュニティ～人権を考える～」  講師: 匹田久美  対等で安心できる関係性構築のための実践共有。</p>	
--	--	---	--

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の金額 (単位：千 円)
その他この 法人の目 的を達成 するため に必要な 事業	・ 概要：介護・福祉職場での ハラスメント体験を記録 し、構造的問題に切り込む 書籍を出版。学習会教材・ 政策提言資料として活用	(A)2024年11月11日 (B)自費出版 ※資料参照	出版寄付

(備考)

- 1 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。

(法第28条第1項「前事業年度の計算書類(活動計算書)」)

令和6年度 活動計算書  
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人人権サポートネット・レジリエンス・アルファ

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	11,000	
賛助会員受取会費	0	
.....	0	11,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	39,000	
施設等受人評価益	0	
.....	0	39,000
3 受取助成金等		
受取民間助成金	0	
.....	0	0
4 事業収益		
事業収益		0
5 その他収益		
受取利息	51	
雑収益	39,203	
.....		39,254
経常収益計		89,254
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
法定福利費	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
.....	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
会議費	0	
旅費交通費	0	
施設等評価費用	0	
減価償却費	0	
支払手数料	20,000	
雑費	330	
その他経費計	20,330	
事業費計		20,330
2 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当	0	
法定福利費	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
.....	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
会議費	0	
旅費交通費	0	
減価償却費	0	
支払利息	0	
.....	0	
その他経費計	0	
管理費計		0
経常費用計		20,330
当期経常増減額		0
III 経常外収益		
1 固定資産売却益		
.....	0	
.....	0	
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
1 過年度損益修正損		
.....	0	
.....	0	
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		0
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		68,924
前期繰越正味財産額		68,185
次期繰越正味財産額		137,109

様式例・記載例(法第28条第1項「前事業年度の計算書類(貸借対照表)」)

令和6年度 貸借対照表

令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人人権サポートネット・レジリエンス・アルファ

(単位:円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金預金	68,185	
未収金	0	
.....	0	
流動資産合計		68,185
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬具	0	
什器備品	0	
.....	0	
有形固定資産計		0
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア	0	
.....	0	
無形固定資産計		0
(3) 投資その他の資産		
敷金	0	
特定資産	0	
.....	0	
投資その他の資産計		0
固定資産合計		0
資産合計		68,185
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
未払金	0	
前受民間助成金	0	
.....	0	
流動負債合計		0
2 固定負債		
長期借入金	0	
退職給付引当金	0	
.....	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産		0
当期正味財産増減額		0
正味財産合計		68,185
負債及び正味財産合計		68,185

(注) 重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等(対象事業等が定められた補助金等を含む)を受け入れた場合は、「III 正味財産の部」を「指定正味財産」と「一般正味財産」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

I 資産の部	
1 流動資産	
.....	
II 負債の部	
.....	
III 正味財産の部	
1 指定正味財産	
指定正味財産合計	×××
2 一般正味財産	
一般正味財産合計	〇〇〇

(法第28条第1項「前事業年度の財産目録」)

令和6年度 財産目録

令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人人権サポートネット・レジリエンス・アルファ

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
手元現金	1,790	
銀行普通預金	66,395	
未収金		
事業未収金	0	
.....	0	
流動資産合計		68,185
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品	0	
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア		
財務ソフト	0	
.....	0	
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
敷金	0	
特定資産	0	
銀行定期預金	0	
.....	0	
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		68,185
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	0	
事務用品購入代	0	
.....	0	
預り金		
源泉所得税預り金	0	
.....	0	
.....	0	
流動負債合計		0
2 固定負債		
長期借入金	0	
銀行借入金	0	
.....	0	
.....	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産		68,185